

松山LINK~松山と世界をつなぐ

設計主旨

松山市内にはいくつもの観光資源があり観光業に携わる人もたくさんいます。松山が発展する上で切っても切り離せないのが観光です。新型コロナウイルスによって遠のいていた客足が戻っている今、松山の観光業全体を盛り上げることのできる二つの建物を四つの「つなぐ」を軸にして設計しました。

1つ目は観光地を空からつなぐロープウェイ乗り場です。

徒歩で観光すると1日では足りません。市内電車を使うという手がありますが路線がたくさんあり初見の観光客にはややこしいです。そこでロープウェイ乗り場をターミナルとし6か所の観光地をぐるっと一周つなぎました。ロープウェイ乗り場は4階建ての複合施設で砥部焼体験のできる工房、着付け体験、茶道体験教室、愛媛の食材を使うレストランを併用しており愛媛の魅力発信に貢献しています。そして「内と外をつなぐ屋内庭園」を設けることによって屋内なのに自然を感じることができ観光客の旅の疲れをいやす空間を作りました。

2つ目は客室と空をつなぐホテルです。

ロープウェイ乗り場の横にホテルを建設することで、1日ロープウェイで松山を観光してホテルで一泊するという旅行プランが生まれます。このホテルの目玉は空とつながる客室です。隈研吾が設計した水とガラスをイメージしてベランダに水盤を設けることで水面に空を映し空と客室をつなぎます。

また、ホテルの外観は世界と繋ぐ繋がることをイメージしました。私たちは普段意識していませんが世界は空で繋がっています。外壁に光を反射する材料を使用して空を映し、建物のGLから上に向かって線を伸ばすことでここから伸びる糸が空から世界と繋げてくれることを願ってデザインしました。

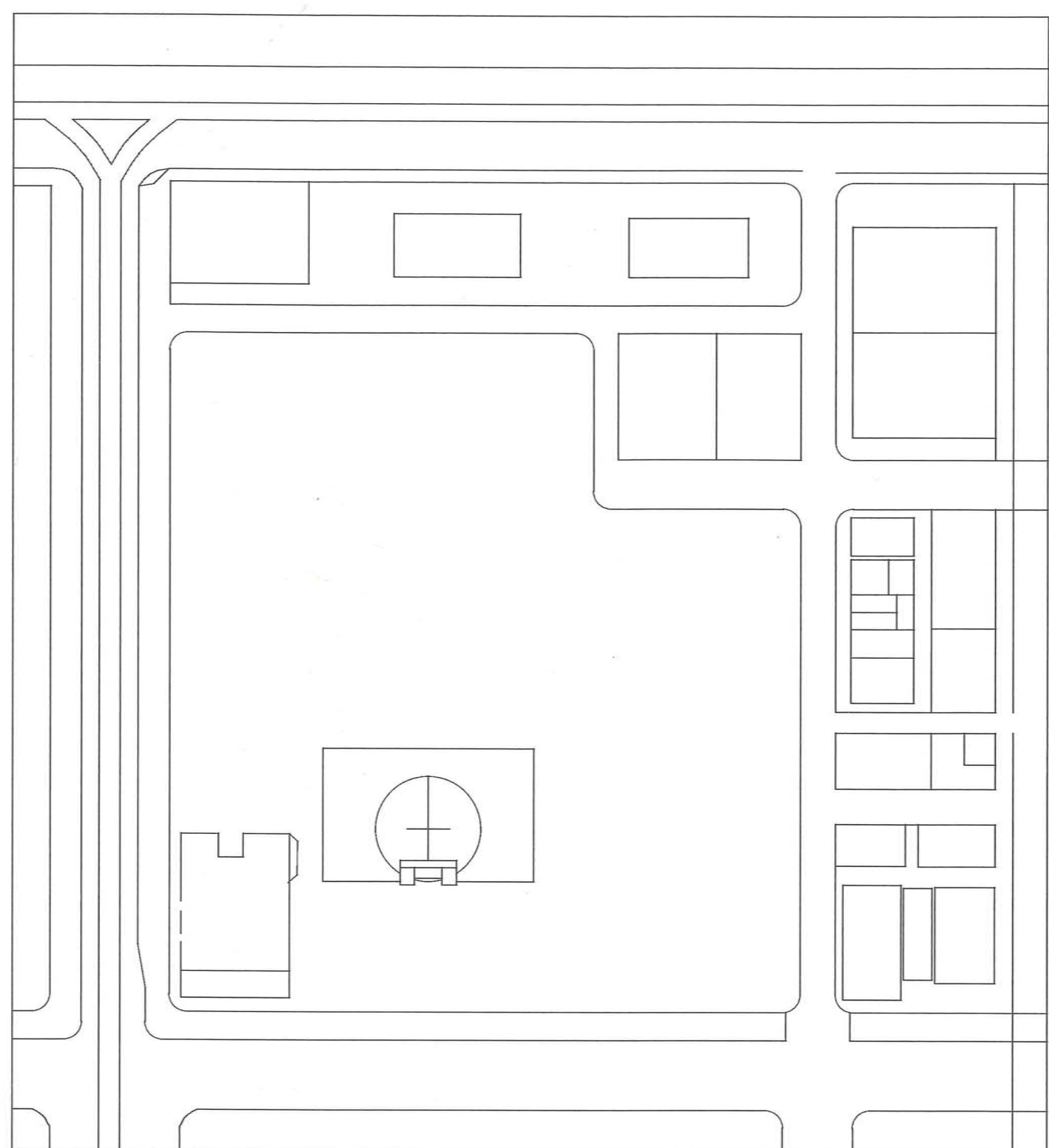
空からつなぐロープウェイ乗り場

内と外をつなぐ屋内庭園

客室と空をつなぐホテル

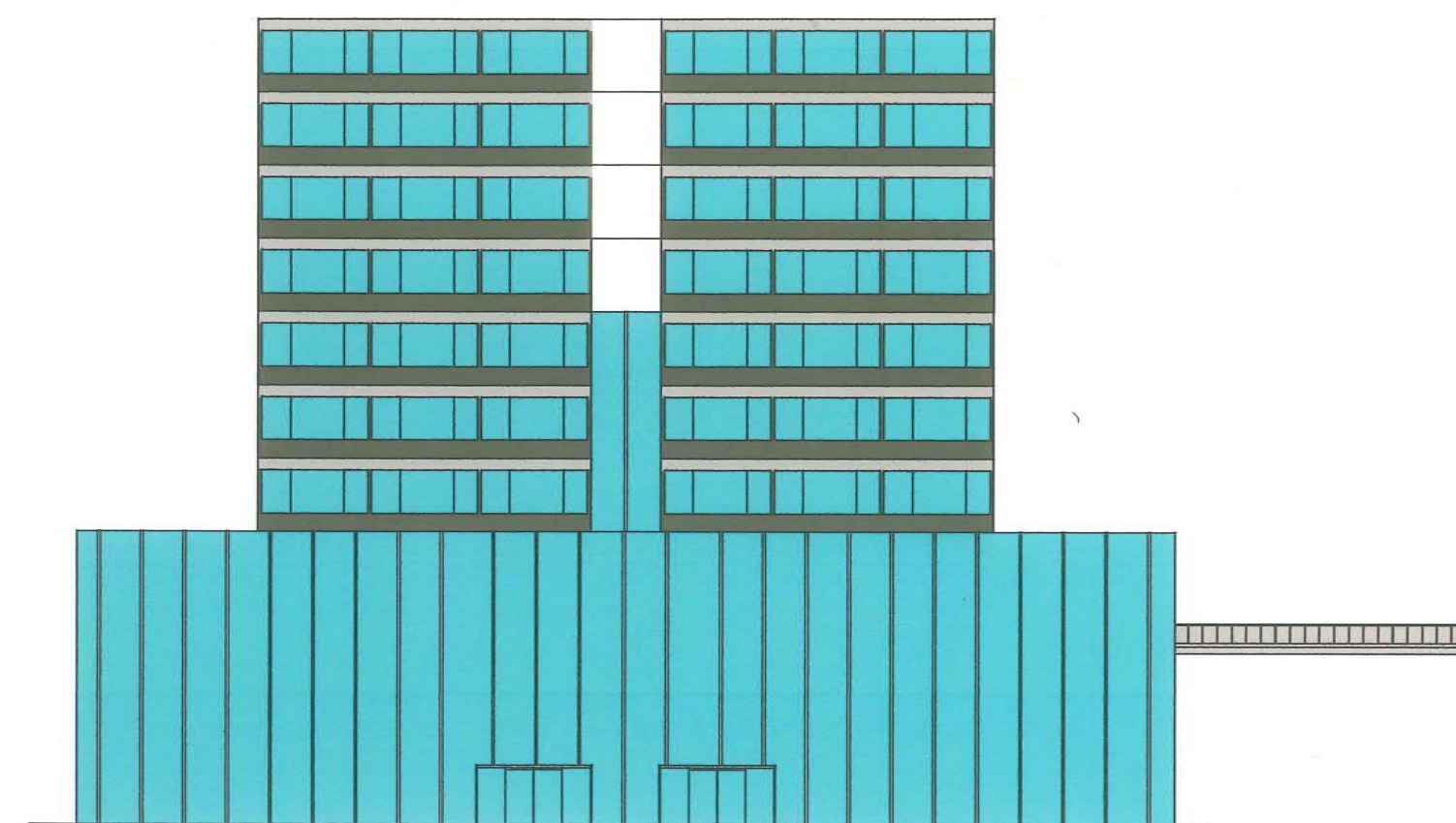
世界とつながるホテル

上の「四つのつなぐ」で松山の観光を盛り上げます。



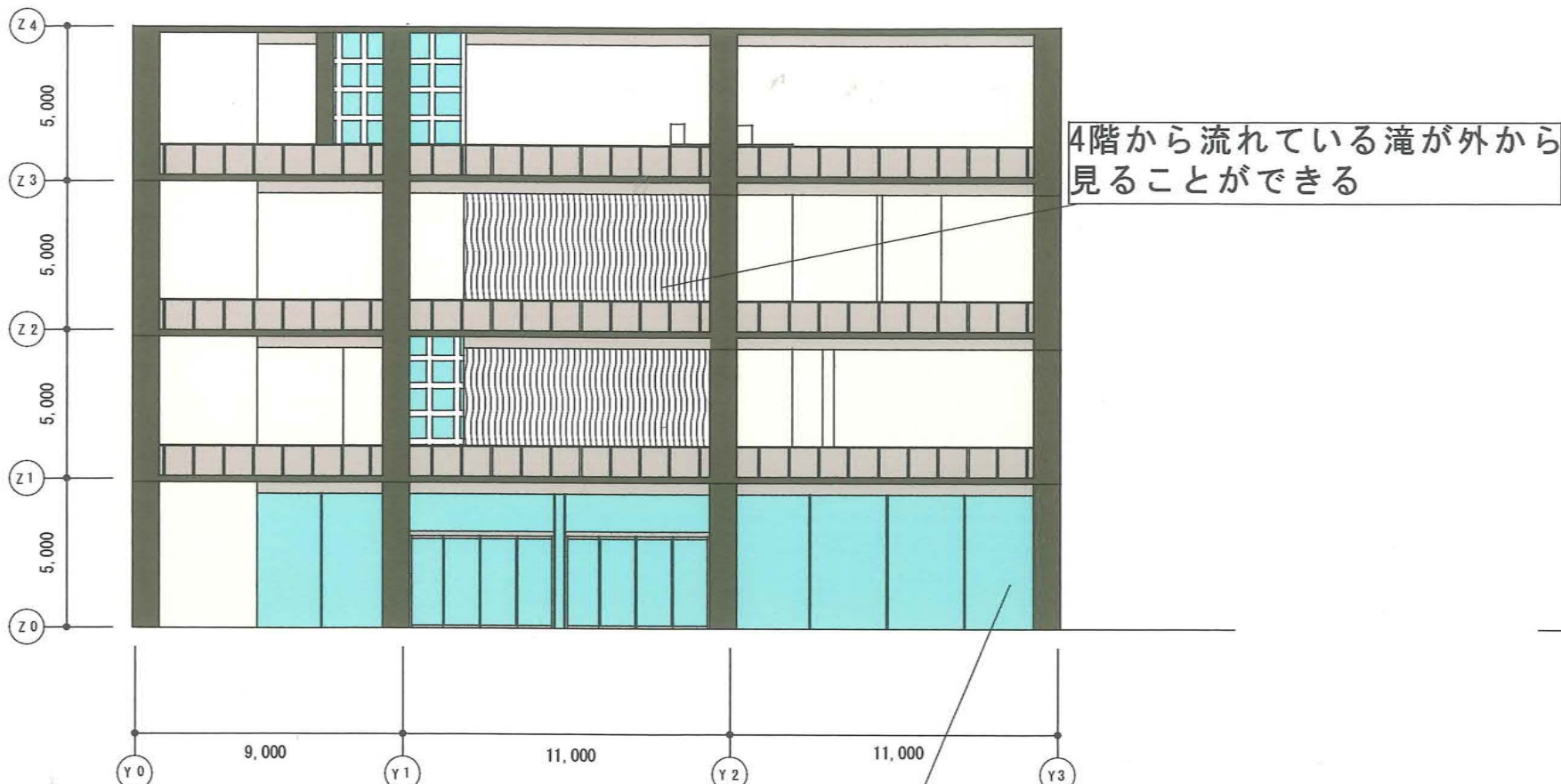
配置図兼建設予定地周辺図

建築面積	
ロープウェイ乗り場	1457平方メートル
ホテル	2280平方メートル



ホテル北面

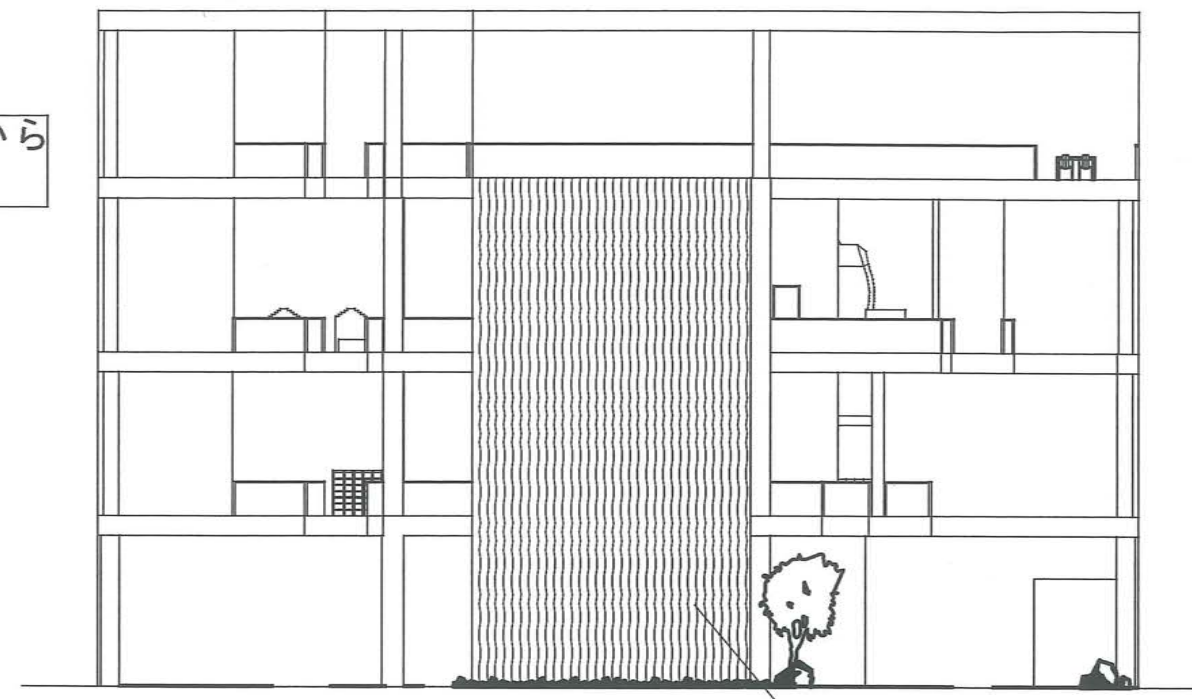
ホテルの客室から松山城を見ることが
できます。
ホテルの客室から見える松山城の風景
はこの施設を訪れた観光客の思い出の
一つとなります。
また、ロープウェイ乗り場を大通り
沿いに設けることで誰でも気軽に立ち
寄れる施設になりました。



東立面図

4階から流れている滝が外から
見ることができる

この面をガラス張りにして外から
中を見れるようにすることで
道行く人に1Fの屋内庭園を見て楽
しんでもらえるようにした。



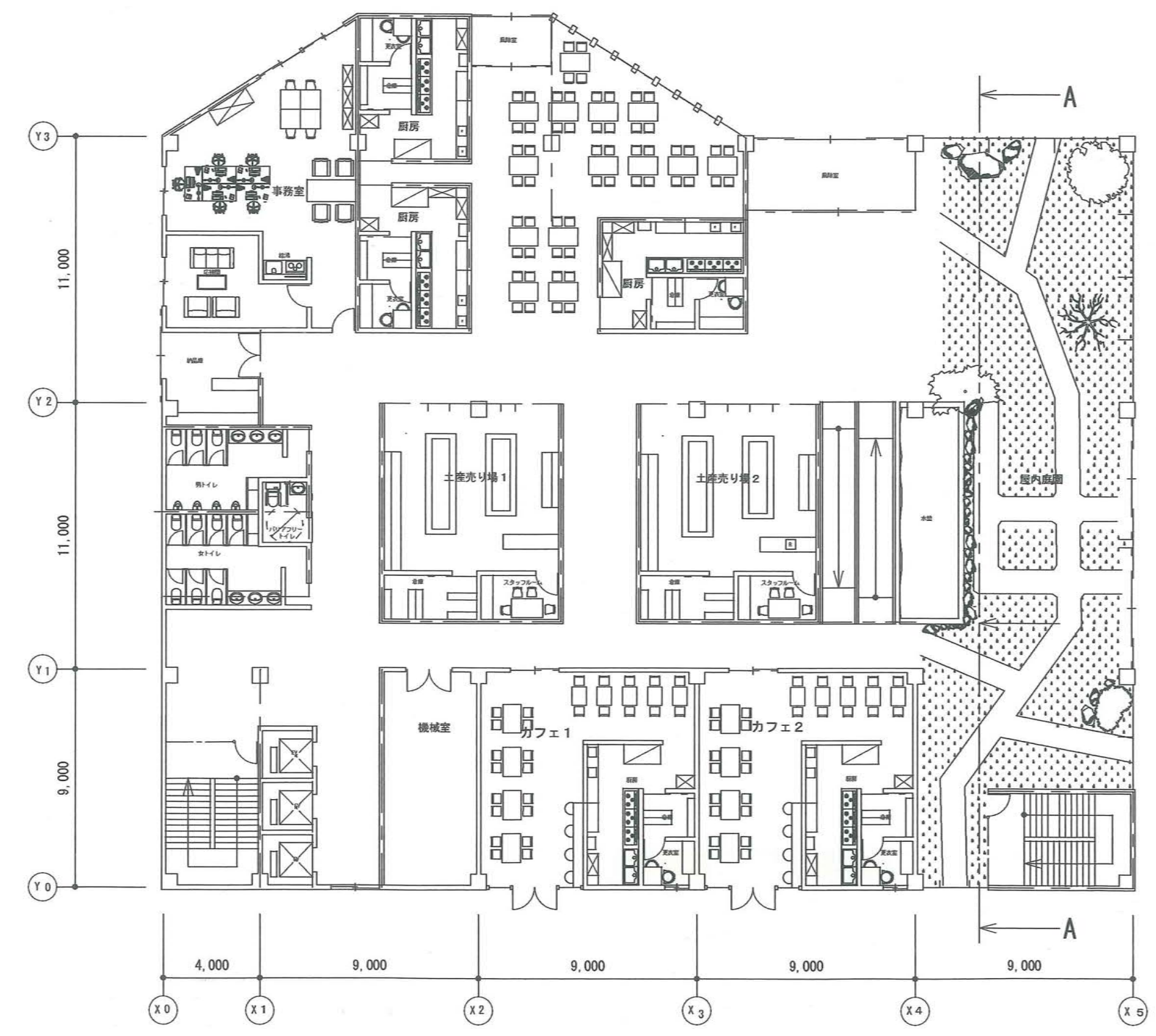
AA断面図

建物の1階から4階にながれている滝
の音が街の喧騒と切り離してくれる。

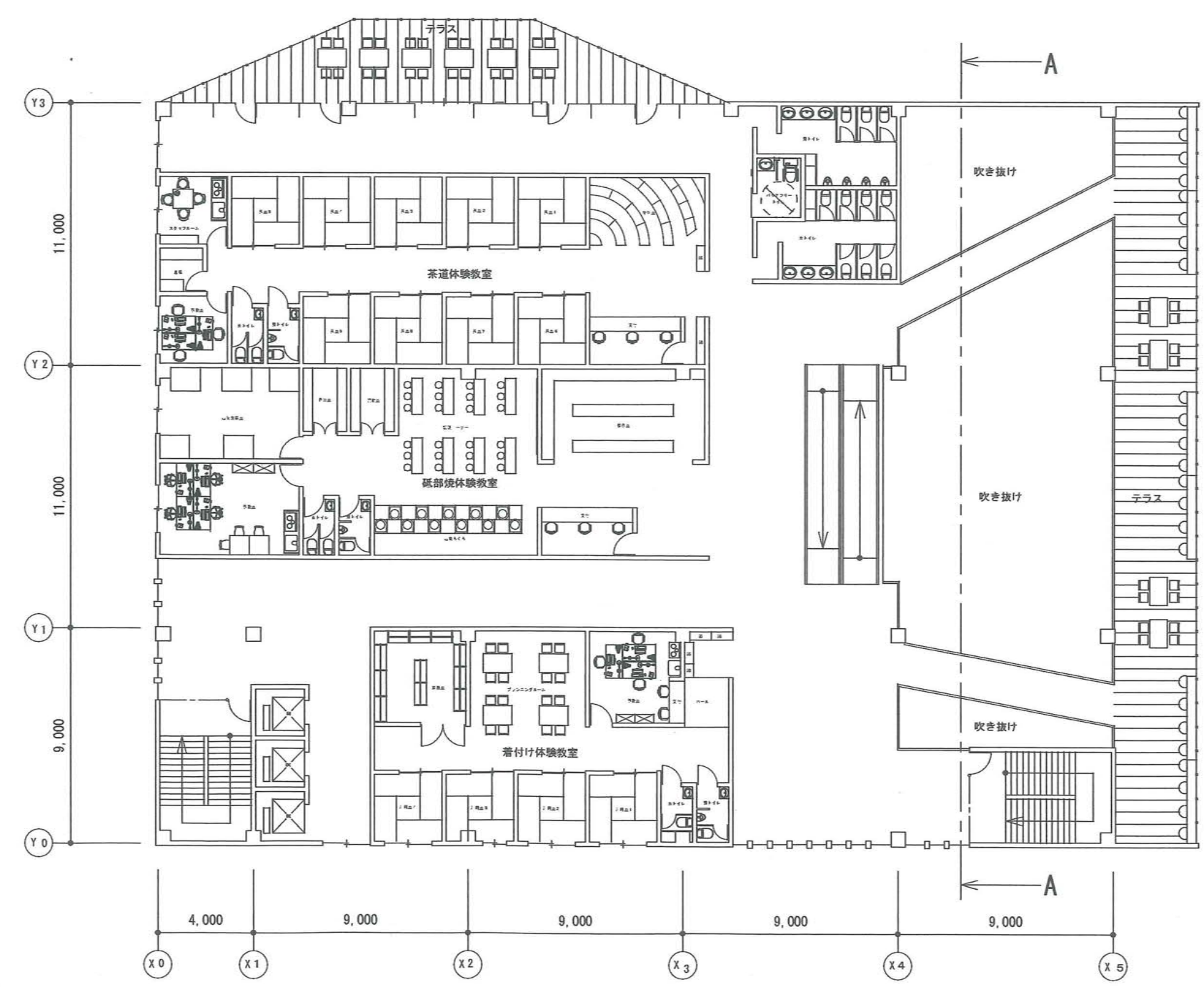


西立面図

ロープウェイがここからいききしている。



ロープウェイ乗り場1階平面図



ロープウェイ乗り場2階平面図

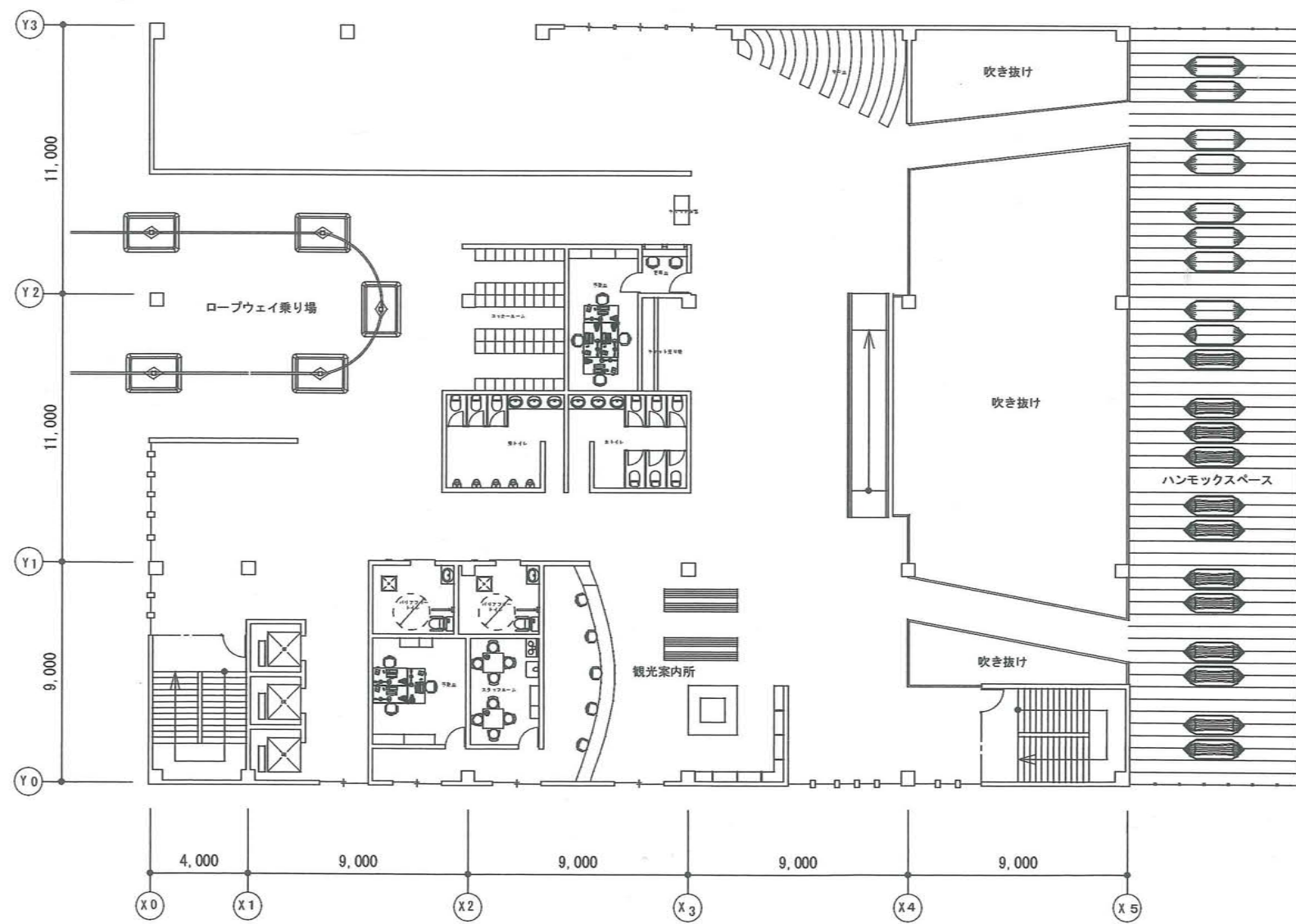


北立面図

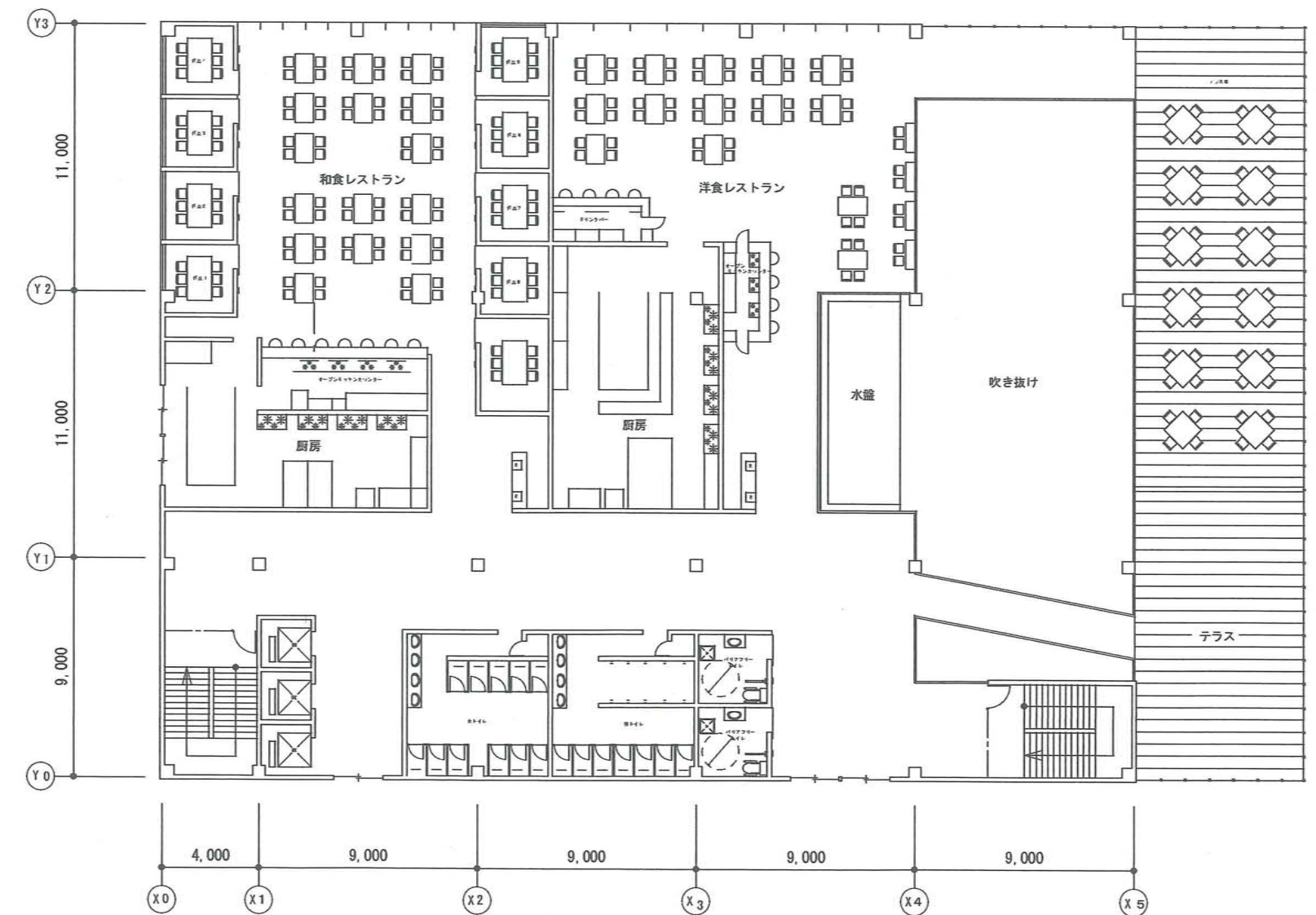


南立面図

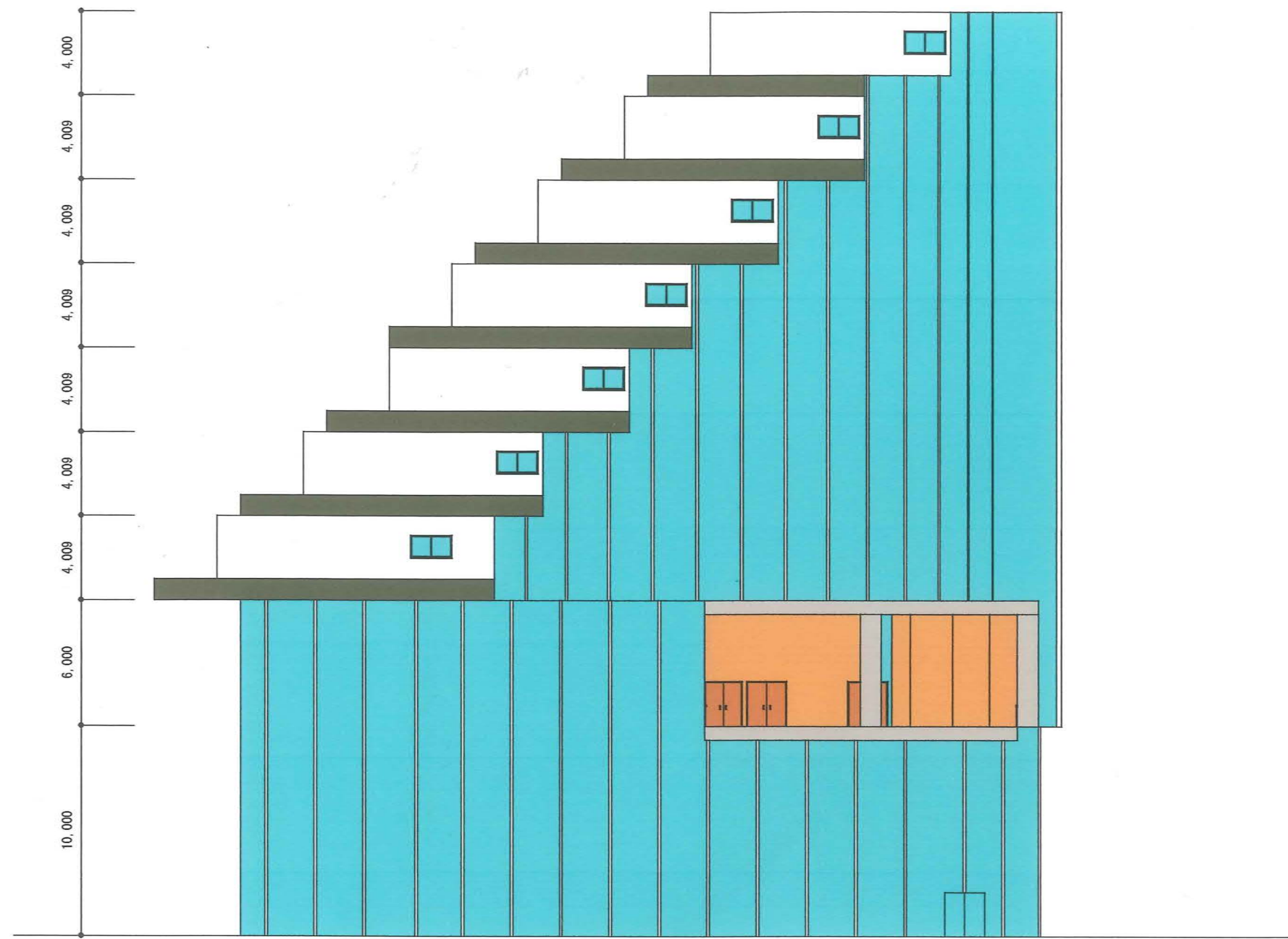
木のルーバーで外観を整えた



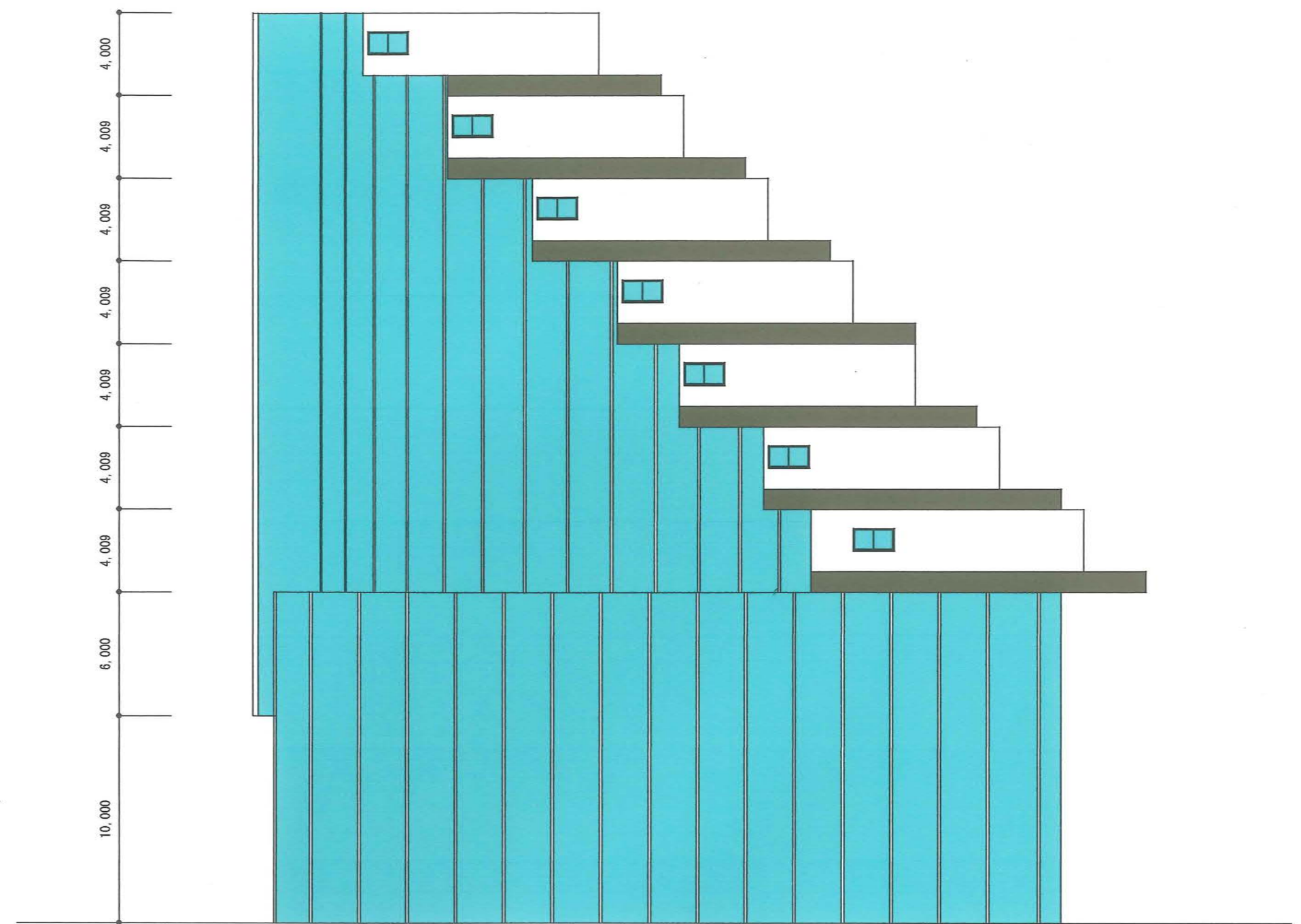
ロープウェイ乗り場3F



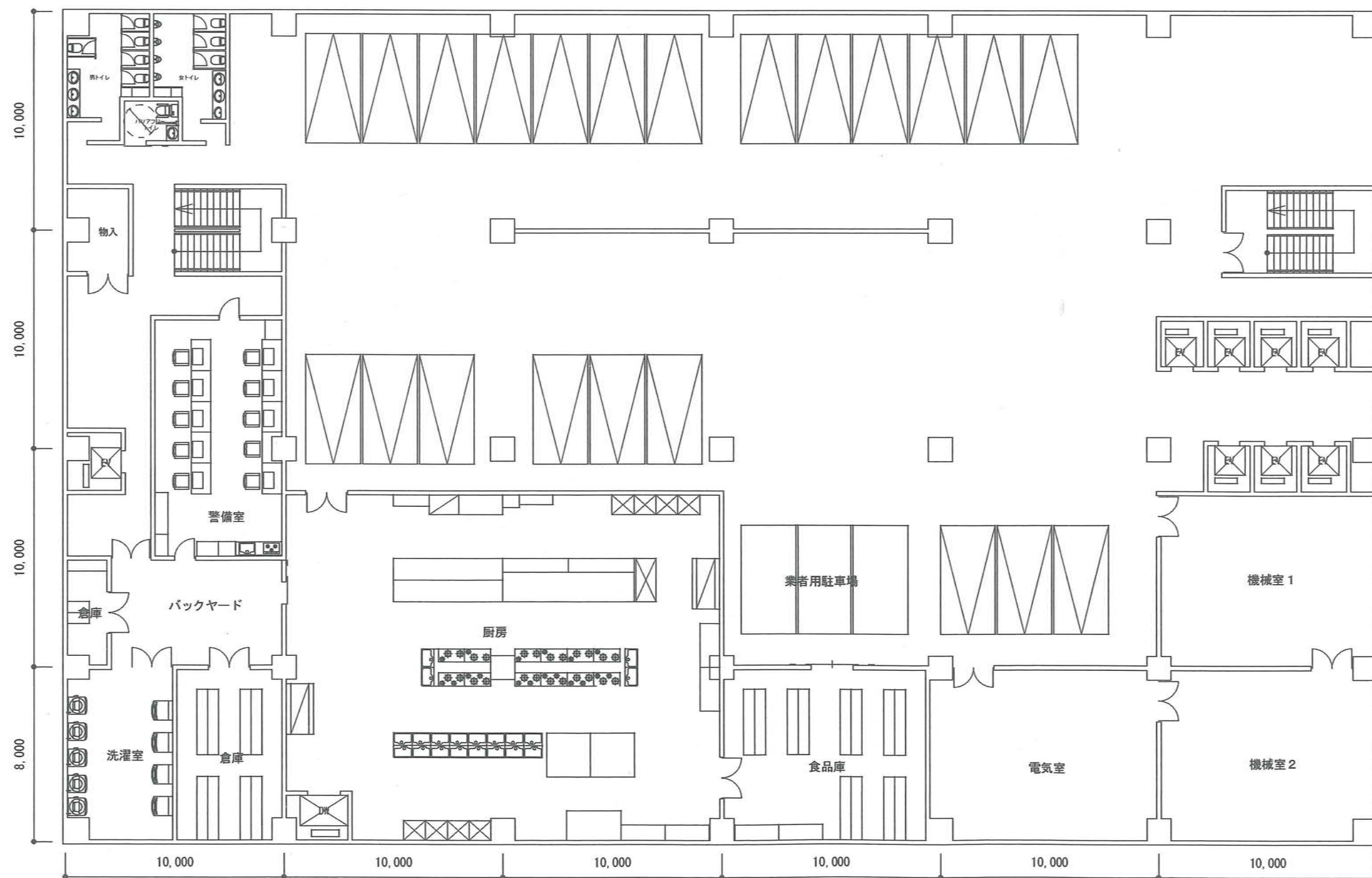
ロープウェイ乗り場4F



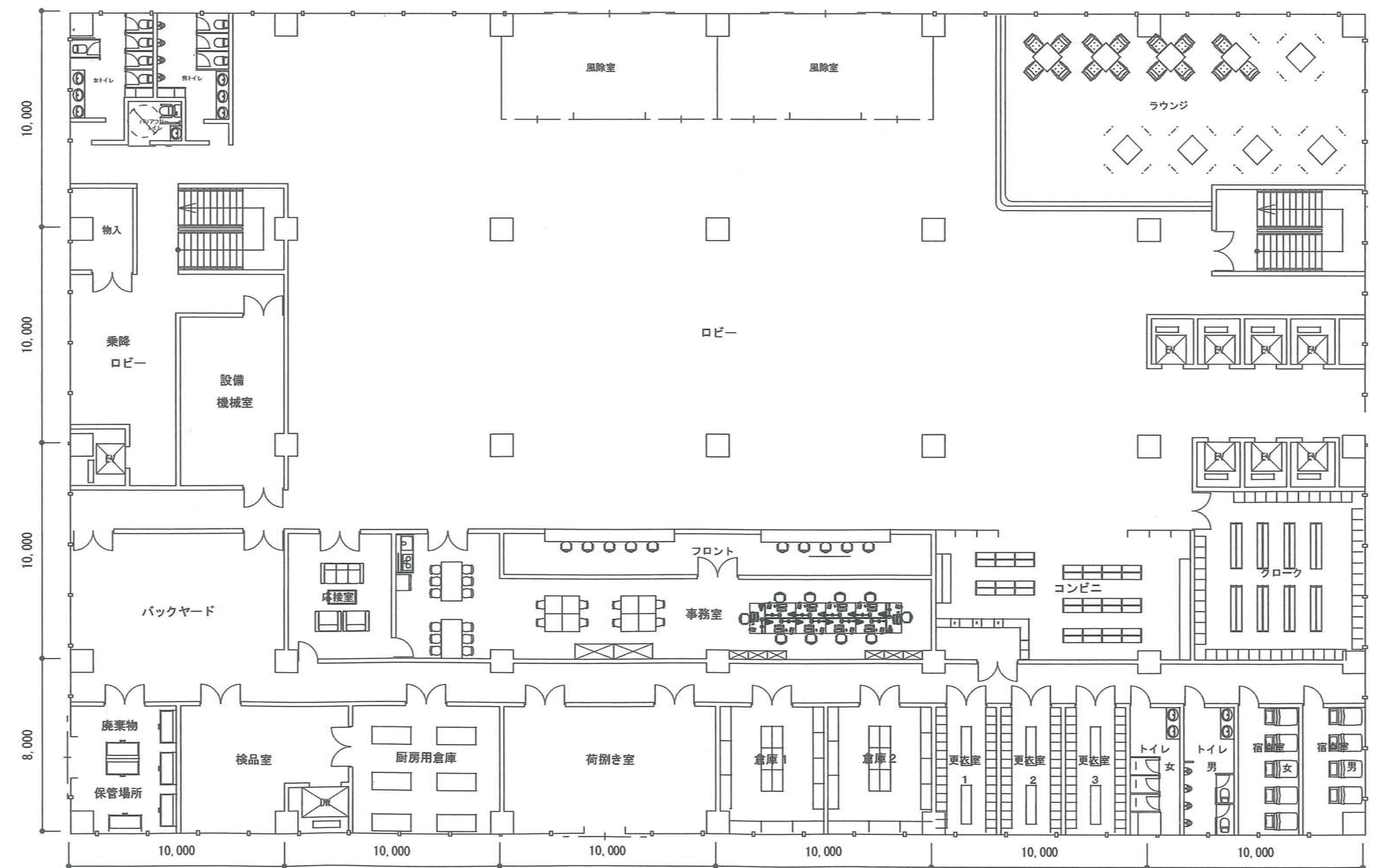
東立面図



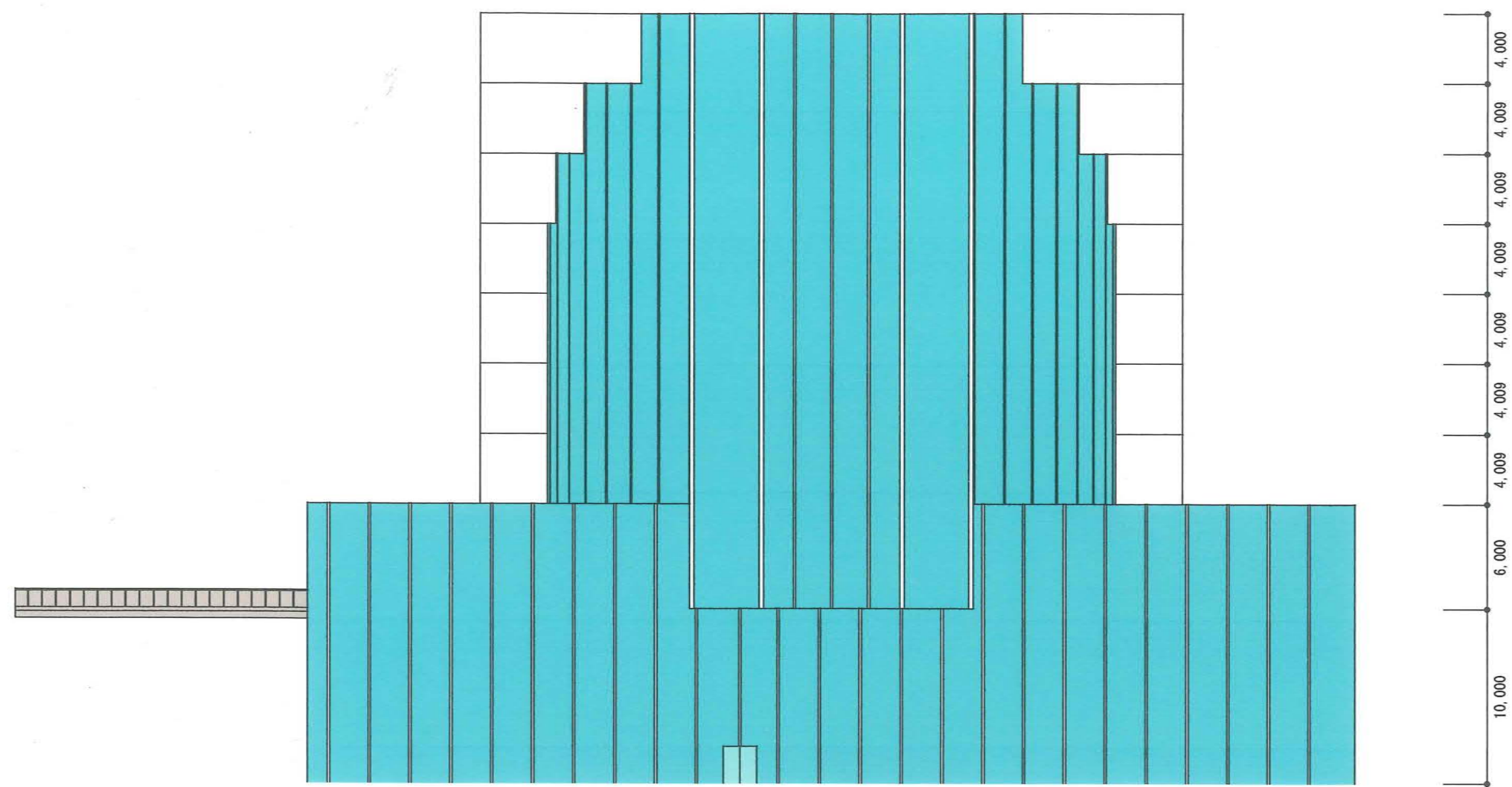
西立面図



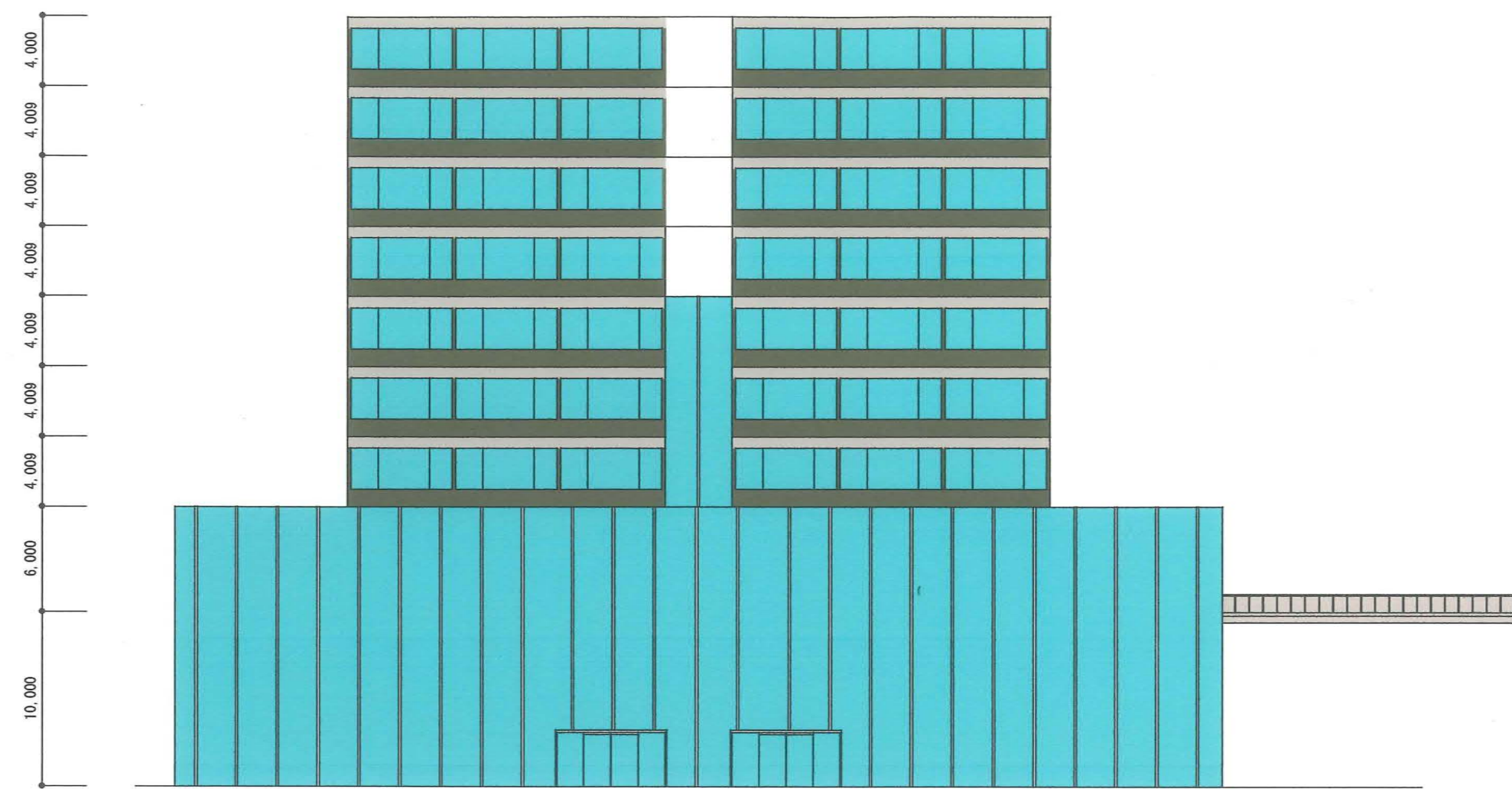
ホテル地階平面図



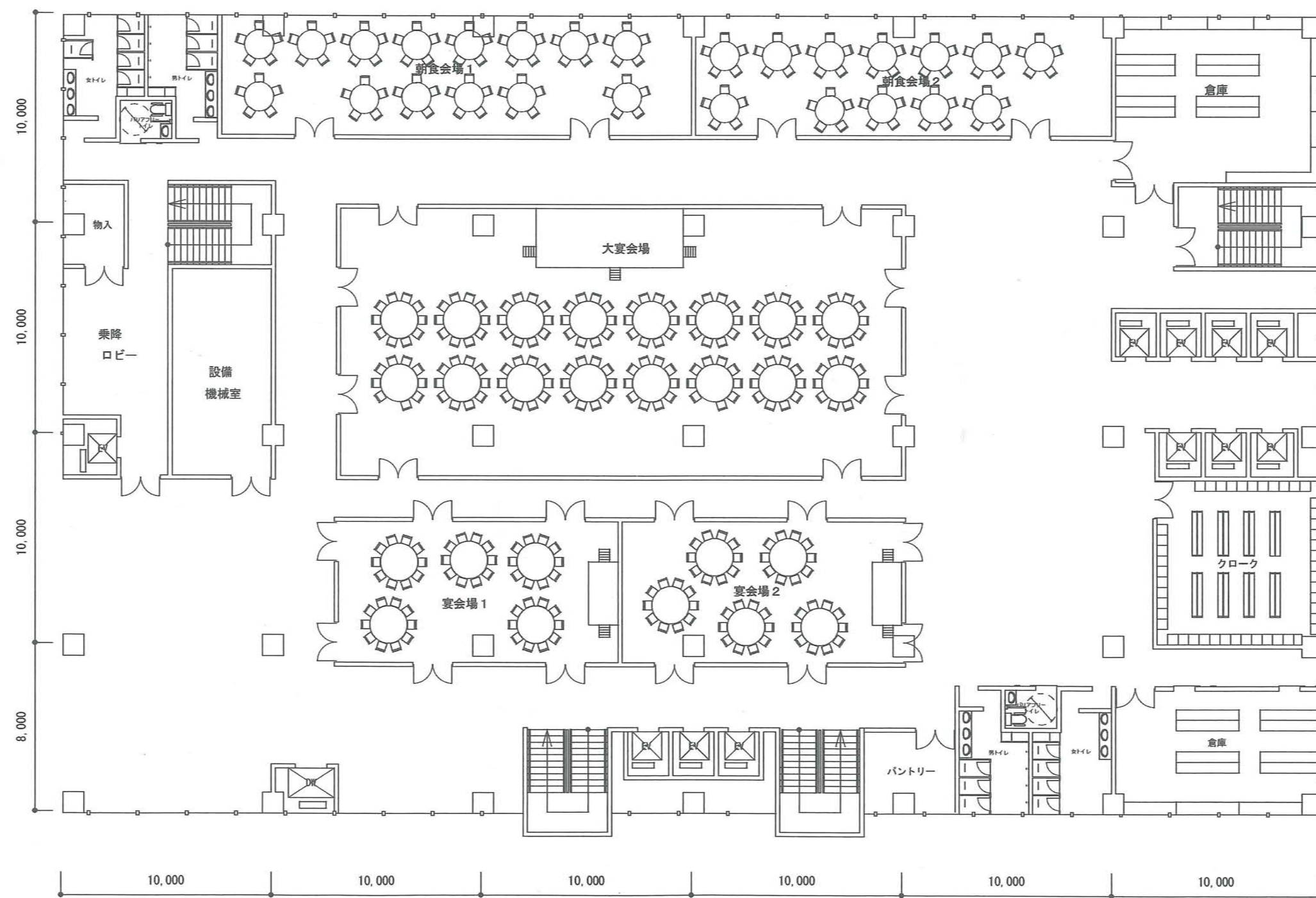
ホテル1階平面図



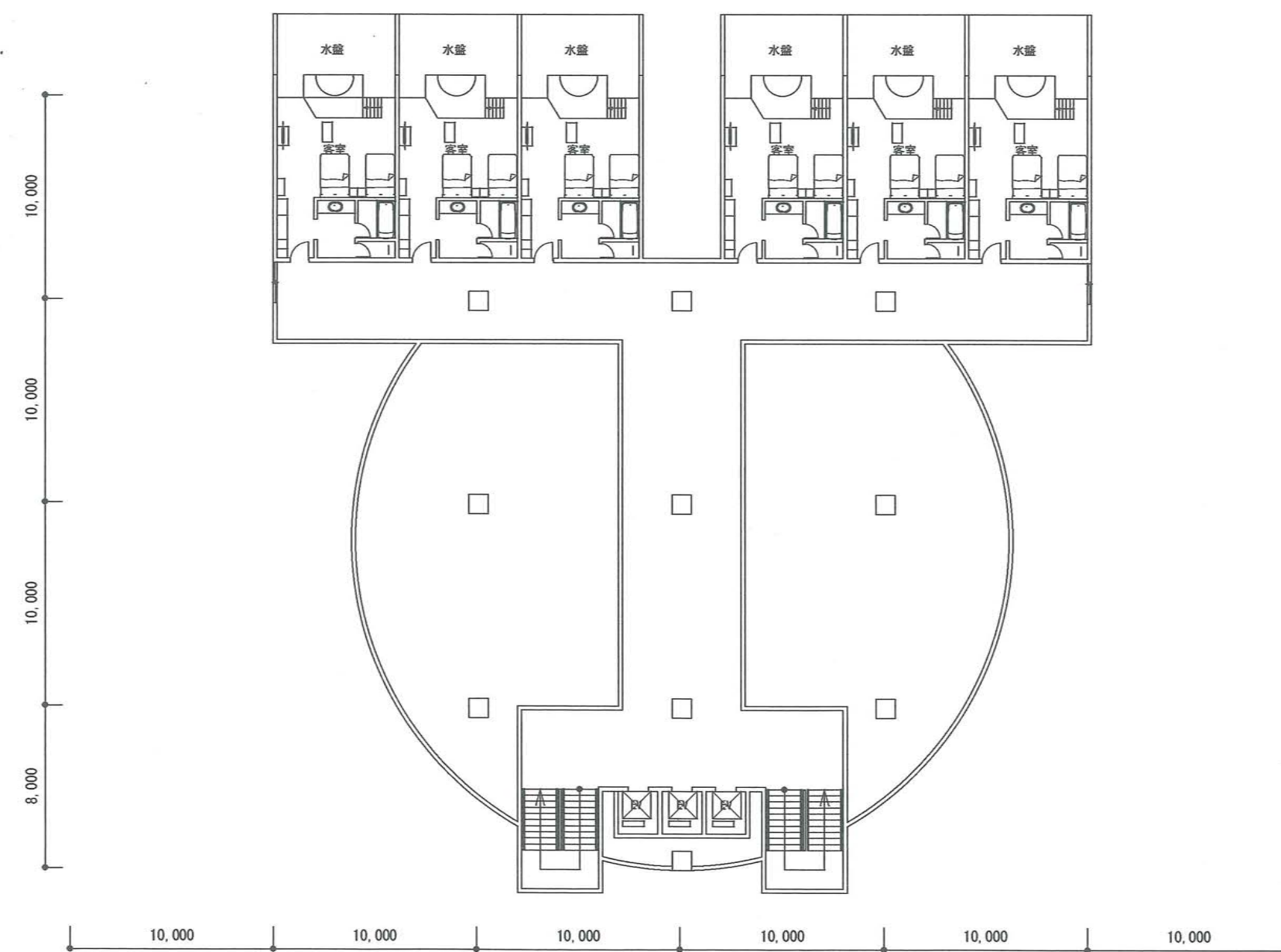
南立面図



北立面図



ホテル3F



ホテル客室基準階